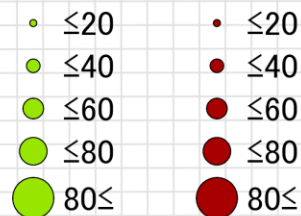


石西礁湖現況把握マップ【試行版】 ～近年のサンゴ被度～

サンゴ被度(%)

近年の被度 過去最大被度



近年の石西礁湖は、2016年の大規模白化からの回復途中にあります。
比較可能なデータのある1983年以降で一番良かったとき（赤丸）と比べ
近年のサンゴがどの程度回復しているのか示しました（緑丸）。

【表示されているデータ】

近年の被度：2017-2019年の平均値

過去の最大被度：石西礁湖は主に1983-2019年の最大値

石垣島・西表島は主に1998-2019年の最大値

※環境省モニタリングサイト1000調査のデータ

赤色がみえている
ところはサンゴが
減ってしまってい
るところです



0 2.5 5 10 キロメートル



サンゴ礁の健全度マップ

【試行版】

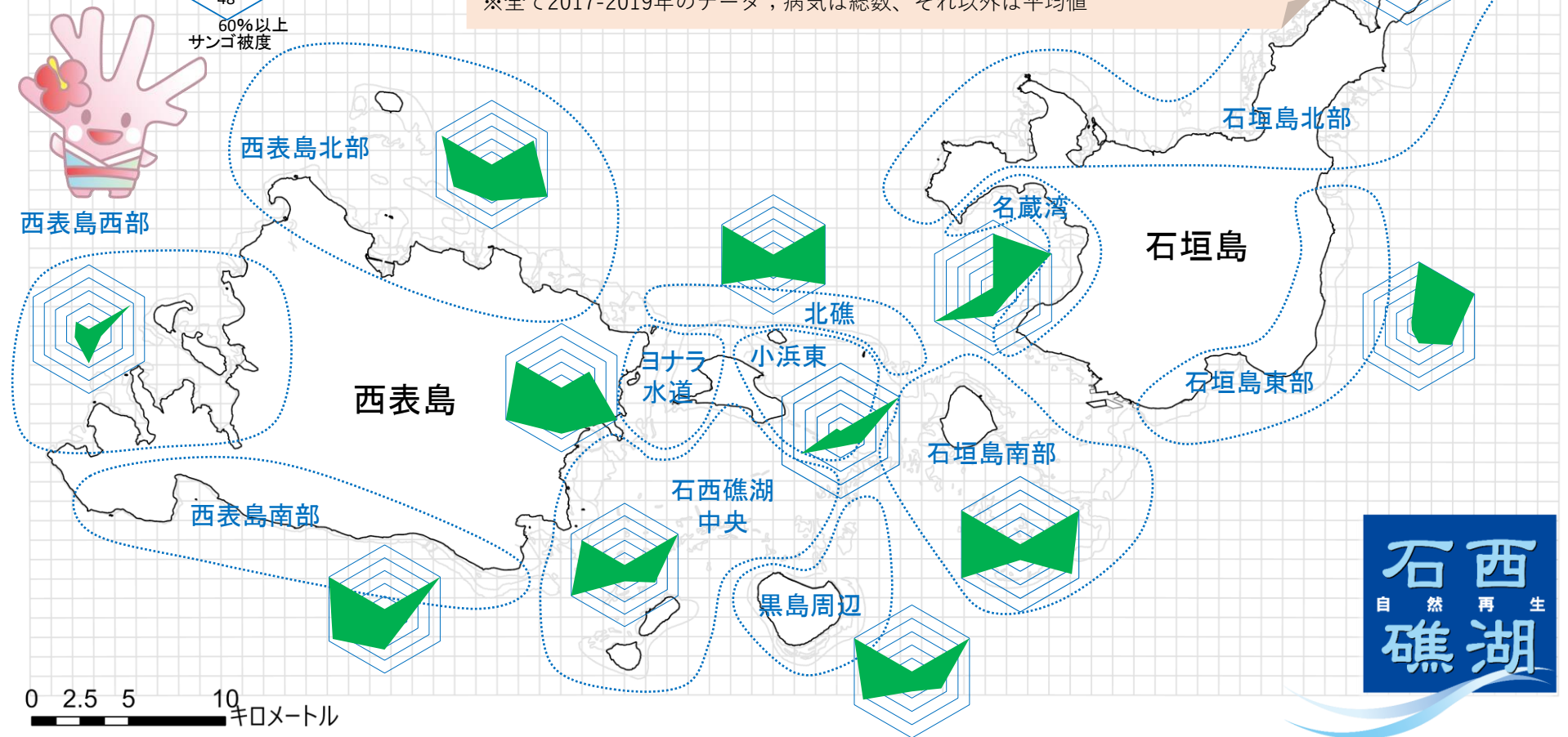
N

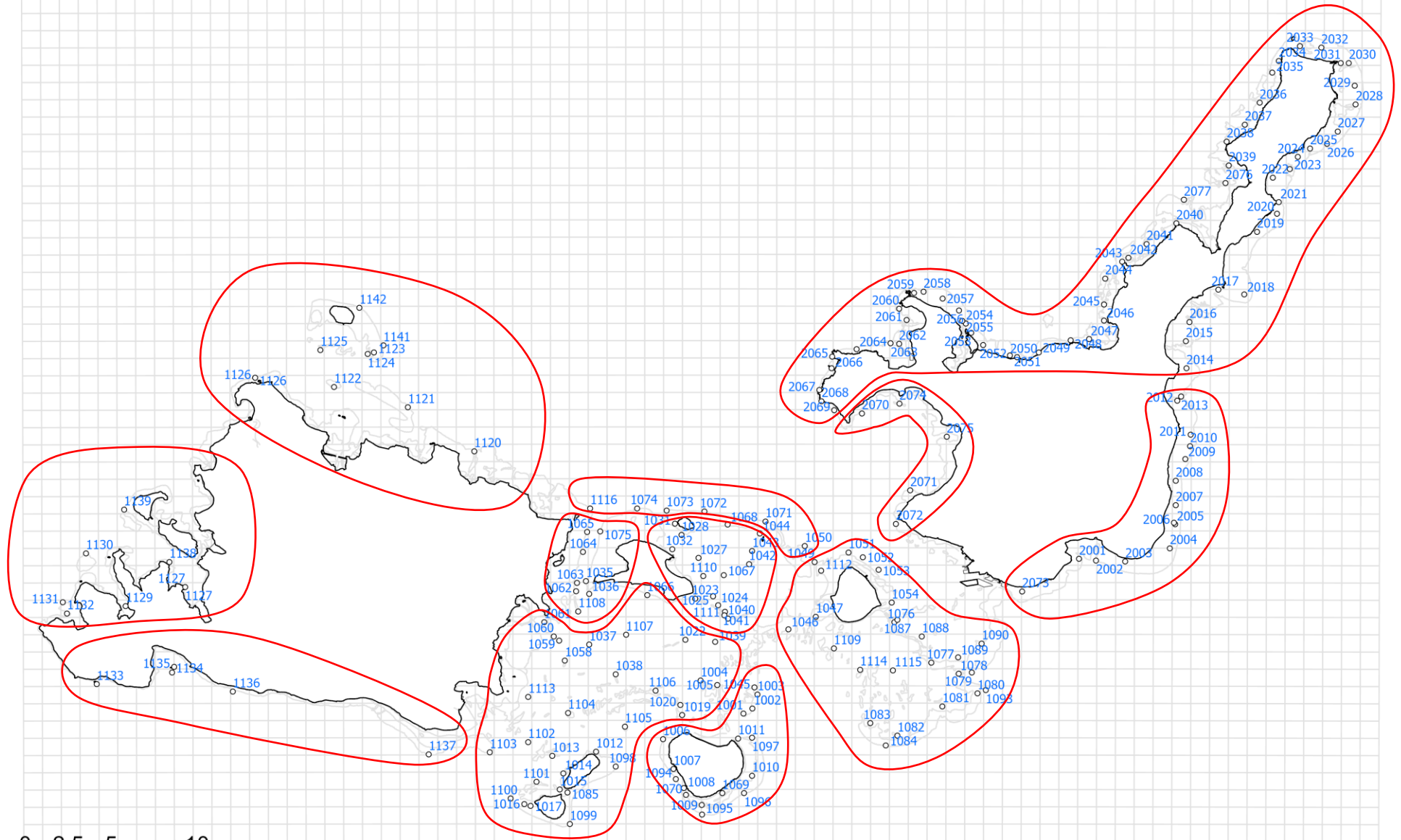


・環境省モニタリングサイト1000調査の結果から、なるべくサンゴ礁の健全度を表す項目を選んで海域ごとにまとめて示しました
・六角形の面積が大きくてバランスがとれているほど健全になります

【表示データと満点のライン】

- ①病気発生回数：3年間で一度も病気が観察されないと満点
 - ②SPSSランク（濁りの指標）：生き生きとしたサンゴ生態系ができる5a以下（濁りが少ない）で満点
 - ③ミドリイシ加入（稚サンゴ密度）：自然再生可能な加入量の10/m²以上で満点
 - ④サンゴ被度：最初の大規模白化前1997年の上位1/4である60%以上で満点
 - ⑤ミドリイシ最大径：クシハダミドリイシが成熟する30cm以上で満点
 - ⑥ブダイ個体数（20分観察で見られた30cm以上の大きさの個体数）：競合する藻類を食べてくれるので多い方が健全で全地点の上位1/4の3個体以上で満点
- ※全て2017-2019年のデータ；病気は総数、それ以外は平均値





0 2.5 5 10
キロメートル